

水質事故対策訓練を実施しました

日時：令和4年5月23日（月） 13:00～15:30

場所：中川公民館（中川コミュニティセンター）・中川排水樋管
（三重県松阪市嬉野中川町927番地）

目的：迅速かつ適切な対応で被害を最小限に抑えるために、水質事故の正しい対策方法や水質事故発生・対応状況に関する情報共有の重要性を習得する。

参加者：27名（各機関職員）

三重県、独立行政法人水資源機構、四日市市、亀山市、津市、伊勢市、度会町、大台町、大紀町

国土交通省蓮ダム管理所、三重河川国道事務所

講師：NPO法人自然エネルギー・環境協会 鶴田裕一氏

主催：三重四水系水質保全連絡協議会（事務局：三重河川国道事務所）

～水質事故対策訓練の様子（説明及び実演）～

油処理剤、油中和剤は使わない



水路の油類拡散防止対応



オイルフェンスの連結方法



油種の特徴は？



ロープ結びの実践



オイルフェンス固定に
必須アイテム

簡易水質検査(電気伝導度計)の実践①



塩分濃度を
確認します

簡易水質検査(パックテスト)の実践①



中の空気を抜いてから
水を吸い取ってください

オイルフェンスの展張実践



皆んなで協力して！

簡易水質検査(電気伝導度計)の実践②



測り終わったら
水で洗ってください

簡易水質検査(パックテスト)の実践②



色の変化で水質を判定します。
原因物質は何だろ？

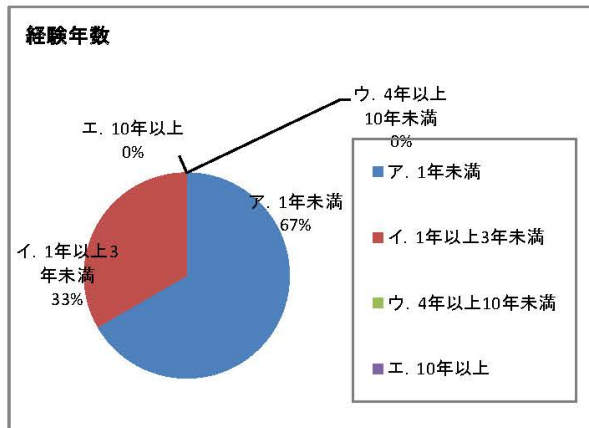
訓練参加お疲れ様でした。

油の流出事故は**拡散防止**が最優先です。交通事故で路面に流れ出た油は吸着剤を用い、水路への流出を防止することが重要です。また、水路や河川に流出した油は拡散を防止すると共に油の種類に応じた対応が必要です。原因がわからない場合は、簡易水質検査や電気伝導度計測から異状の有無・原因を突き止めることも可能です。

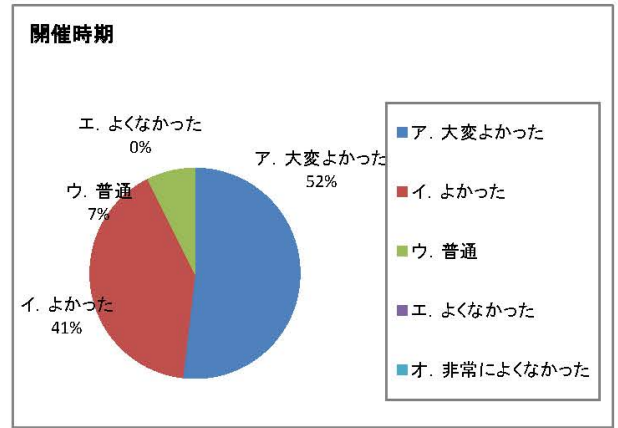
水質事故対応においては、**迅速かつ適切な対応**が被害の拡大を防ぎます。そのためには様々な知識が必要です。

最後に、今回訓練に参加された方々の声を紹介させていただきます。

1. 経験年数について

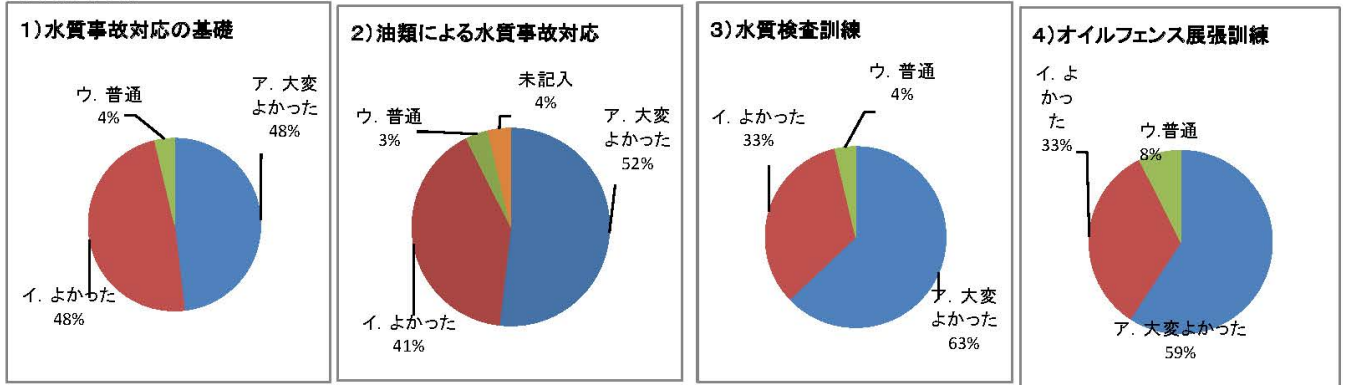


2. 開催時期について



3. 水質事故対策訓練の内容について

○実施内容について



※自由回答より

- ・ 県市町(他機関)との役割や連携方法を明確にしなければならない
- ・ 油流出に油処理剤が良くないのは知らなかった。
- ・ 自然現象やその他の水質事故の対応方法について詳しく知りたい
- ・ 実演があり大変分かりやすかった
- ・ 各薬品への対応方法や魚類を含めた死骸の処理方法(埋めるのか、業者による処分なのか)を詳しく知りたい
- ・ スマートパックテストを試しに使ってみたいです

4. 困っていること苦慮していること、不安に思っていること

- ・ 水路の排水系統の把握に苦慮している
- ・ 油流出の際に急に対応できるように準備していきたい
- ・ 事務所から遠い場所で水質事故が発生した際の対応を考えなければいけない
- ・ 吸着材の処理方法を事前に把握しなければならない

5. 意見要望

- ・ 今後も続けてほしいです。大変勉強になりました
- ・ 河川でのオイルフェンスの設置、水質の調べ方などこれからの仕事で必要になることを多く学ぶことができた